

調査票

潜在ならびに定年退職看護職員の就業に関する意向調査

調査ご協力をお願い

各位

時下 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびは看護マンパワーの確保につきましてご理解賜り、調査へのご協力をいただきましたことに深く御礼申し上げます。すでにご承知のとおり第六次看護職員需給見通しにおいて、今後5年間に約11万人の確保が必要とされています。加えて今回の社会保険診療報酬および介護報酬の改定、医療制度改革等に伴い、看護職員の需要がますます高まり、免許をお持ちで現在就業していない皆様の職場復帰に大きな期待が寄せられています。しかし潜在看護職員は推計で55万人いるとされていますが、その実態ははっきりと把握されてはいません。

そこで本会は、潜在看護職員ならびに定年退職予定看護職員の皆様の就業に関する意向や希望する就業条件を調査させていただくことにいたしました。調査結果は47都道府県や国等へ報告書としてまとめ、看護職の離職防止や安心して再就業できる環境づくりのための就業支援対策や政策提言に生かしていく方針です。

調査票は無記名でご記入いただき、統計的処理をいたしますので、個人を特定できるようなかたちで公表することは一切ございません。また、調査にご協力いただいた方の個人情報は、本調査の目的以外に使用することはないと、調査終了後、責任を持って破棄いたします。

誠にお手数をおかけいたしますが、アンケートにご協力いただけますようお願い申し上げます。

日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部

ご記入にあたってのお願い

1. この調査は現在、①求職活動をしている、していないに関わらず未就業の看護職員（潜在看護職員）、②定年退職予定の看護職員の方にご記入をお願いしています。
2. 特にことわりのない限り、**2006年10月1日現在**の状況をお答え下さい。
3. 回答は、基本的にはあてはまる番号に○をつけて下さい。
4. 回答が「その他」にあてはまる場合は、ご面倒でもなるべく具体的にご記入下さい。
5. 内容については、統計的処理を行いますので、施設名・個人名が特定される形で公表されることは一切ございません。
6. ご記入いただきました調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、**11月10日（金）までに** 投函して下さい（11月10日消印有効）。

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

全ての方にお聞きします (p. 1～p. 4)

【問1】 下記の各設問に回答し、☐内のあてはまるアルファベット（A～E）に1つだけ○をつけて下さい。

スタート！

Q. 看護職（保健師、助産師、看護師、准看護師）の免許を所持している

はい

いいえ

残念ながら、今回の調査該当者ではありません。
以下の問いには回答せず、調査票をご返送下さい。

Q. 平成18年10月現在、看護職の免許を使用して働いている

はい

Q. 平成21年3月までに定年退職の予定がある

はい

A

Q. 在学中である

はい

いいえ

Q. 進学先は、看護系教育機関である

はい

いいえ

Q. 看護職（保健師、助産師、看護師、准看護師）以外の仕事に就いている

はい

いいえ

D

E

B

C

【問2】 居住都道府県をご記入下さい。また、都市区分に関してはあてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

①

都・道・府・県

②

1. 政令指定都市・東京23区

2. 政令指定都市以外の県庁所在地

3. その他の市

4. 町村

【問3】 年齢をご記入下さい。

歳

【問4】 性別についてあてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. 女性

2. 男性

【問5】 配偶状況についてあてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. 未婚

2. 既婚

3. 離死別

【問6】 あなたは被扶養者ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. 被扶養者である

2. 被扶養者でない

【問7】 あなたは現在、年金受給者ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. 年金受給者である

2. 年金受給者ではない

潜在ならびに定年退職看護職員の就業に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

【問 8】 子どもの有無についてあてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. いる 2. いない



【問 8-1】 問 8 で「1. いる」を選択された方にお聞きます。① 子どもの人数、② 末子の年齢について回答して下さい。

① 子どもの人数 人 ② 末子の年齢 満 歳

【問 9】 介護が必要な家族の有無についてお聞きます。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. いる 2. いない



【問 9-1】 問 9 で「1. いる」を選択された方にお聞きます。あなたは介護にどの程度にかかわっていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. すべて 2. 一部 3. ほとんどかかわっていない

【問 10】 保健医療福祉に関する取得免許・資格等についてお聞きます。あなたが取得されている免許・資格等すべてに○をつけて下さい。(複数回答)

【免許】

1. 保健師 2. 助産師 3. 看護師 4. 准看護師

【資格等】

1. 専門看護師 (日本看護協会認定) 2. 認定看護師 (日本看護協会認定) 3. 認定看護管理者 (日本看護協会認定)
4. 実習指導者講習修了者 5. 看護教員養成講習会修了者 6. 介護支援専門員 (ケアマネジャー)
7. 治験コーディネータ養成研修修了者 8. 医療安全管理者養成研修修了者 9. 産業カウンセラー
10. 看護教諭 11. 救急救命士 12. 社会福祉士 13. 介護福祉士
14. 臨床心理士 15. 精神保健福祉士 16. その他学会認定の資格等 ()

【問 11】 あなたの最終学歴についてお聞きます。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

なお、一般学歴・専門学歴それぞれについて、最後に卒業した学校をお答え下さい。

外国の学校を卒業した場合も含まれますが、在学中及び中途退学は、最終学歴にはなりません。

【一般学歴】

1. 中学校 2. 高等学校 (高校衛生看護科含む) 3. 短期大学 (看護系短大含む)
4. 大学 (看護系大学含む) 5. 大学院 (看護系大学院含む) 6. 旧教育制度の学校
7. その他 ()

【専門学歴】

1. 准看護師養成所 2. 高校衛生看護科 3. 看護師養成所 (2年課程)
4. 高校専攻科 (2年課程) 5. 看護系短大 (2年課程) 6. 看護師養成所 (3年課程)
7. 看護系短大 (3年課程) 8. 保健師学校 (短大専攻科含む) 9. 助産師学校 (短大専攻科含む)
10. 保健師助産師学校 (専門学校) 11. 4年制専門学校 (統合カリキュラム) 12. 看護系大学
13. 看護系大学院修士課程 14. 看護系大学院博士課程 15. 旧教育制度の学校

潜在ならびに定年退職看護職員の就業に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

【問 12】 あなたの看護職としての職歴についてお聞きます。① 通算経験年数（育児休暇中は就業中とみなす。また、看護職として働いた経験がない方は「0 年 0 ヶ月」と記入）、② 最後に働いていた職場から離職した期間（離職した最初の年を 1 年目と数える）、③ 現在までの通算離職期間、④ 転職回数（最初の就職先から勤務先が変わった回数）のそれぞれの項目にあてはまる数字をご記入下さい。

① 通算経験年数	② 最終離職期間	③ 通算離職期間	④ 転職回数
計（ ）年（ ）ヶ月	（ ）年目	計（ ）年（ ）ヶ月	（ ）回

【問 13】 看護職として働いていたことのある施設・場所について、① 常勤、② 非常勤それぞれあてはまる番号すべてに○をつけて下さい。（複数回答）また、③最後に働いていた職場（定年退職予定の方は現在の職場）はどこですか（但し 28. 救護（イベント、旅行添乗等）は除く）。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけて下さい。

	① 常勤	② 非常勤	③ 最後に働いていた職場
1. 病院（急性期対応を中心とする）：500 床以上	1	1	1
2. " : 200～499 床	2	2	2
3. " : 200 床未満	3	3	3
4. 病院（療養を中心とする介護療養型医療施設等）：500 床以上	4	4	4
5. " : 200～499 床	5	5	5
6. " : 200 床未満	6	6	6
7. 病院（精神を中心とする）：500 床以上	7	7	7
8. " : 200～499 床	8	8	8
9. " : 200 床未満	9	9	9
10. 診療所（有床）	10	10	10
11. 診療所（無床）	11	11	11
12. 助産所	12	12	12
13. 都道府県保健所	13	13	13
14. 政令指定都市保健所	14	14	14
15. 市町村（保健センター等）	15	15	15
16. 省庁・都道府県庁・市区町村（社協含む）	16	16	16
17. 検（健）診センター・労働衛生機関	17	17	17
18. 企業・事業所の健康管理部門	18	18	18
19. 地域包括支援センター	19	19	19
20. 訪問看護ステーション	20	20	20
21. 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	21	21	21
22. ケアハウス・グループホーム・有料老人ホーム	22	22	22
23. その他の居宅サービス事業所	23	23	23
24. その他の社会福祉施設（障害者施設等）	24	24	24
25. 看護系教育研究機関	25	25	25
26. ヘルスケア産業	26	26	26
27. ボランティア団体	27	27	27
28. 救護（イベント、旅行添乗等）	28	28	
29. その他（ ）	29	29	29

【問 14】 直近の前職場での最終職位は何でしたか。定年退職予定の方は現在の職位についてお答え下さい。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけて下さい。

1. 看護部の部長・副部長クラス	2. 師長クラス（病棟管理等に携わる）	3. 主任（チームリーダ）クラス
4. スタッフ	5. 教員	6. その他（ ）

潜在ならびに定年退職看護職員の就業に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

- ◎ ナースセンターでは、就職先を探している看護職と、看護職員を雇用したいと考えている施設に、それぞれ登録していただき、無料で職業紹介をしています。また、ブランクが長くて再就業が心配な看護職のために、最新の医療・看護を学ぶための看護力再開講習会、実習などの研修・イベントも行っています。

【問 15】 あなたはナースセンターに求職登録をされたことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. 以前、登録していた | 2. 現在、登録中である |
| 3. ナースセンターは知っていたが、登録をしたことは一度もない | 4. ナースセンターを知らなかった |

【問 16】 あなたはナースセンターで行われている各種研修・イベントに今までに参加されたことがありますか。また今後、参加したいと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つだけ○をつけて下さい。

事業名	研修・イベントへの参加					
	今まで			今後		
	(1. 参加したことがある 2. 参加したことはない)			(1. 参加したい 2. 参加したくない 3. わからない)		
① 就業相談	1	2		1	2	3
② 進路相談会	1	2		1	2	3
③ 看護学生対象の就職ガイダンス	1	2		1	2	3
④ セカンドキャリアの就業支援	1	2		1	2	3
⑤ 看護職員リフレッシュ研修	1	2		1	2	3
⑥ 看護力再開講習会	1	2		1	2	3
⑦ 訪問看護師養成講習会	1	2		1	2	3

【問 17】 本調査はどのようにしてお知りになりましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。(複数回答)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 新聞(新聞社名：_____) | 2. 日本看護協会公式ホームページ |
| 3. 協会ニュース | 4. ハローワーク |
| 5. 都道府県看護協会、ナースセンター | 6. 友人、知人 |
| 7. 職場の上司 | 8. 自治体公報 |
| 9. 看護系学会 | 10. その他(_____) |

【問 18】 あなたは日本看護協会会員ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

- | | | |
|-------------|-----------------------|-----------------|
| 1. 現在、会員である | 2. 以前会員だったが、今は入会していない | 3. 一度も入会したことはない |
|-------------|-----------------------|-----------------|

◎ 現在、未就業の方は p. 5～p. 8 へ

◎ 平成 21 年 3 月末までに定年退職予定の方は p. 9～p. 11 へ

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

現在、看護職として未就業の方のみお答え下さい

(p. 5～p. 8)

【問 19】 今後、看護職として働きたいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. 看護職として働きたい 2. 看護職として働く気はない 3. どちらでもない

【問 20】 ① 離職理由、② 現在就業していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。(複数回答)

		① 離職理由	② 現在就業していない理由
I あなた（自身）の状況に関する事	1. 結婚	1	1
	2. 妊娠・出産	2	2
	3. 子育て	3	3
	4. 親族の健康・介護	4	4
	5. 自分の健康	5	5
	6. 定年	6	6
	7. 転居	7	7
	8. 配偶者の転勤	8	8
	9. リフレッシュ	9	9
	10. 進学・研修・留学	10	10
	11. 通勤困難	11	11
	12. 家事と両立しない	12	12
	13. (看護職以外の) 他の職場への興味 (具体的に)	13	13
	14. (看護職の) 他の職場への興味	14	14
	15. 自分の適性・能力への不安	15	15
	16. 興味が持てない・やりがいがない	16	16
II 職場環境に関する事	17. 職場において看護の自律性、専門性が認められない	17	17
	18. 雇用者側の都合 (施設の閉鎖、統廃合等)	18	18
	19. 雇用形態に不満	19	19
	20. 昇進・昇給・給与に不満	20	20
	21. 福利厚生に不満	21	21
	22. 教育・研修体制に不満	22	22
	23. 勤務時間が長い・超過勤務が多い	23	23
	24. 夜勤の負担が大きい	24	24
	25. 休暇がとれない	25	25
	26. 上司 (看護管理者等) との関係 (暴言、暴力等)	26	26
	27. 同僚との関係 (暴言、暴力等)	27	27
	28. 医師との関係 (暴言、暴力等)	28	28
	29. 患者・ケア対象者との関係 (暴言、暴力等)	29	29
	30. 看護の理念・方針に不満	30	30
	31. 責任の重さ・医療事故への不安	31	31
	32. 医療のIT化 (電子カルテ等) に適応できない	32	32
III	33. その他 ()	33	33

潜在ならびに定年退職看護職員の就業に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

【問 21】 あなたが働いていた最後の職場を退職する時、誰かに相談しましたか。あてはまる番号にすべてに○をつけて下さい。(複数回答)

- | | |
|------------------------------------|---------------------|
| 1. 目標管理体制 [※] の中で担当者に相談した | 2. 人材育成や人事の担当者に相談した |
| 3. 個別に上司に相談した | 4. 同僚に相談した |
| 5. 家族に相談した | 6. その他 () |
| 7. 特に相談しなかった | |

※ 組織目標と個人目標を統合し、個人の成長と組織の業績を向上させる管理手法をいう。その過程で上司と部下は面接を実施、部下は個人目標の実現に努力し上司はそれを支援しその結果、組織目標が達成される。



【問 21-1】 問 21 で「1.」～「6.」を選択された方にお聞きます。その内容はどのようなものですか。あてはまる番号にすべてに○をつけて下さい。(複数回答)

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 看護実践能力の育成に関することを相談した | 2. 就業を続ける上での悩みについて相談した |
| 3. 処遇について相談した | 4. 人間関係について相談した |
| 5. 退職後具体的な計画について相談した | 6. 当該地域での再就職先について相談した |
| 7. 相談の結果、ナースセンターへの登録をすすめられた | |
| 8. その他 () | |

◎ 【問 19】 で「1. 看護職として働きたい」「3. どちらでもない」を選択された方は、【問 22】へ、「2. 看護職として働く気はない」を選択された方は、【問 31】へお進み下さい。

【問 22】 看護職として働きたいと思ったきっかけは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。(複数回答)

- | | |
|-------------------------|-------------------------------|
| 1. 看護に関する求職情報に触れたから | 2. 子育てが終わった（一段落した）から |
| 3. 配偶者や家族からの理解が得られたから | 4. 扶養家族（親や子ども）を養うため |
| 5. 将来（老後）のための経済的準備 | 6. 心身ともに充電・リフレッシュできたから |
| 7. 再就業のための研修を受けたから | 8. 健康維持のため |
| 9. 社会参加したいから | 10. 身近な場所に病院等ができたから |
| 11. 看護職としてのやりがいや再認識したから | 12. マスメディア（TV 等）で看護が取り上げられたから |
| 13. その他 () | |



【問 22-1】 問 22 で「1. 看護に関する求職情報に触れたから」を選択された方にお聞きます。情報媒体はなんですか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。(複数回答)

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1. ナースセンター（中央ナースセンターホームページ） | 2. 看護系雑誌 |
| 3. 一般雑誌・新聞 | 4. 日本看護協会公式ホームページ |
| 5. 友人・知人等からの口コミ | 6. ハローワーク |
| 7. 自治体公報 | 8. 講演会、セミナー |
| 9. 有料職業紹介所からの案内 | 10. その他 () |

潜在ならびに定年退職看護職員の就業に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

【問 23】 再就業先として具体的にどのような職場をお考えでしょうか。希望する職場すべてに○をつけて下さい。
「病院」(選択肢 1. 2. 3.) を選ばれる方は、< >内の病床規模もあわせて選択して下さい。(複数回答)

1. 病院 (急性期対応を中心とする)	<A. 500 床以上 B. 200～499 床 C. 200 床未満>		
2. 病院 (療養を中心とする介護療養型医療施設等)	<A. 500 床以上 B. 200～499 床 C. 200 床未満>		
3. 病院 (精神を中心とする)	<A. 500 床以上 B. 200～499 床 C. 200 床未満>		
4. 診療所 (有床)	5. 診療所 (無床)	6. 助産所	7. 都道府県保健所
8. 政令指定都市保健所	9. 市町村 (保健センター等)	10. 省庁・都道府県庁・市区町村 (社協含む)	
11. 検 (健) センター・労働衛生機関	12. 企業・事業所の健康管理部門		
13. 地域包括支援センター	14. 訪問看護ステーション	15. 介護老人保健施設・介護老人福祉施設	
16. ケアハウス・グループホーム・有料老人ホーム	17. その他の居宅サービス事業所		
18. その他の社会福祉施設 (障害者施設等)	19. 看護系教育研究機関	20. 一般企業	
21. ボランティア団体	22. 救護 (イベント、旅行添乗等)	23. その他 ()	

【問 24】 再就業希望時期はいつですか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけて下さい。選択肢「2. () 年 () カ月後から働きたい」を選択される方は () 内に具体的な数字をご記入下さい。

1. 就業先が既に決まっている	2. すぐにでも働きたい
3. () 年 () カ月後から働きたい	4. わからない

【問 25】 再就業をするにあたり希望する雇用形態は何ですか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけて下さい。

1. 常勤 (正職員)	2. 非常勤 (嘱託含む)	3. 臨時雇用 (1 ヶ月未満)
4. その他 ()		

【問 26】 再就業をするにあたり希望する勤務形態は何ですか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけて下さい。また、「1. 交替制 (3 交替)」「2. 交替制 (2 交替)」を選択された方は、希望夜勤回数もあわせてご記入下さい。

1. 交替制 (3 交替)	→	夜勤回数 () 回まで
2. 交替制 (2 交替)	→	夜勤回数 () 回まで
3. 日勤のみ	4. 夜勤のみ	5. 1 日における勤務時間の短縮
6. 1 ヶ月間の勤務日数の短縮	7. その他 ()	

【問 27】 再就業をするにあたり希望する給与総額 (手取り) はいくらですか。月給換算でご記入下さい。

	百	十	万	千	百	十	一	
月給換算								円以上

【問 28】 再就業をするにあたり希望する処遇は何ですか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけて下さい。

1. 経験を考慮した給与	2. 院内保育所の整備	3. 学童保育への配慮	4. 有給休暇の取得
5. 宿舍・寮の整備	6. 駐車場の設置	7. その他 ()	

潜在ならびに定年退職看護職員の就業に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

【問 29】 再就業をするにあたり希望する業務内容は何か。希望する業務内容についてあてはまる番号すべてに○をつけて下さい。(複数回答)

1. 病棟看護	2. 外来看護	3. 手術室看護	4. 集中治療室
5. 救命救急	6. 人工透析	7. ホスピス	8. 施設看護 (社会福祉施設)
9. 看護管理	10. 地域保健 (一般行政)	11. 検診 (がん検診等)	12. 健診 (基本健診、母子健診等)
13. 予防接種	14. 介護予防	15. 生活習慣病予防事業	16. 健康管理 (学校・企業等の健康管理室)
17. 救護 (イベント、旅行添乗等)	18. 訪問看護	19. ケアマネジメント	
20. 介護 (入浴介助等)	21. 教育	22. 学生実習指導	23. 通信添削指導員
24. 治験	25. 研究・開発	26. 看護職員の就業相談	27. 新人看護職員の臨床研修指導
28. 再就業看護職員の職場復帰支援研修指導	29. その他 ()		

【問 30】 再就業のために事前に研修を受けたいと思われませんか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. はい 2. いいえ



【問 30-1】 問 30 で「1. はい」を選択された方にお聞きします。研修についてどのような内容や条件・方法を希望されますか。あてはまる番号にすべてに○をつけて下さい。(複数回答)

【内容】

1. 再就業先の病院で実施している看護技術	2. 高度医療技術・知識	3. 訪問看護
4. 高齢者の看護	5. 障害者看護	6. 医療保険制度
7. 介護保険制度	8. 保健指導、生活習慣病指導	9. ケアマネジメント
10. 医療安全教育	11. クリティカルパス	12. 看護管理・経営管理
13. IT 関連の知識 (オーダーリングシステム等)	14. 接遇	
15. その他の内容 ()		

【条件・方法】

1. 所属の看護協会における研修	2. 自宅から通いやすい施設での研修
3. 経験に応じた個別の研修	4. 実技を主体とした臨床研修
5. e-Learning (インターネットを用いた研修)	6. その他の条件・方法 ()

【問 31】 日本看護協会に対するご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書き下さい。

◎ 質問は以上で終わります。ご面倒ですが、最後にもう一度、記入漏れがないかどうかをご確認下さい。

長い時間のご協力ありがとうございました。

※ 本調査結果の速報は 2007 年 1 月頃に発表予定です。また、報告書は 2007 年春に刊行されます。

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

定年退職予定の方のみお答え下さい (p. 9～p. 11)

【問 32】 定年退職はいつ頃を予定されていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 平成 18 年度 (～平成 19 年 3 月) | 2. 平成 19 年度 (平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月) |
| 3. 平成 20 年度 (平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月) | |

【問 33】 あなたの所属されている施設では、定年退職予定の看護職員に対して面接、相談を行っていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|



【問 33-1】 問 33 で「1. はい」を選択された方にお聞きします。貴施設で行われている面接、相談の内容は何ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 退職後の生活設計 (年金の受け取り方など) | 2. 自施設への再就業の検討 |
| 3. 再就業にあたっての就業領域・就労形態についての情報提供 | 4. ナースセンターへの登録のすすめ |
| 5. セカンドキャリア開発支援研修の案内 | 6. その他 () |

【問 34】 定年退職後、看護職として働きたいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。選択肢「2. () 年 () カ月後から看護職として働きたい」を選択される方は () 内に具体的な数字をご記入下さい。

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 定年退職後すぐにでも看護職として働きたい | 2. () 年 () カ月後から看護職として働きたい |
| 3. 看護職として働く気はない | 4. どちらでもない |

◎ 【問 34】 で「1. 定年退職後すぐにでも看護職として働きたい」「2. () 年 () カ月後から看護職として働きたい」「4. どちらでもない」を選択された方は、【問 35】へ、「3. 看護職として働く気はない」を選択された方は、【問 43】へお進み下さい。

【問 35】 定年退職後も看護職として働きたいと思った理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。
(複数回答)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 将来 (老後) のための経済的準備 | 2. 年金受給までの蓄えが欲しいから |
| 3. 家族からの理解が得られたから | 4. 扶養家族がいるから |
| 5. 健康維持のため | 6. 社会参加したいから |
| 7. 身近な場所に病院等ができたから | 8. 看護職としてのやりがいを感じているから |
| 9. 友人・知人、職場の上司等から頼まれたから | 10. その他 () |

【問 36】 定年退職後の再就業希望先は、今、働いている職場ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 今、働いている職場 | 2. 今、働いている職場とは異なる職場 |
|--------------|---------------------|

潜在ならびに定年退職看護職員の就業に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561



【問 36-1】 問 36 で「2. 今、働いている職場とは異なる職場」を選択された方にお聞きます。定年退職後の再就業先として具体的にどのような職場をお考えでしょうか。希望する職場すべてに○をつけて下さい。「病院」（選択肢 1. 2. 3.）を選ばれる方は、＜ ＞内の病床規模もあわせて選択して下さい。（複数回答）

- | | | | |
|---------------------------|--------------------------------------|-------------------------|------------|
| 1. 病院（急性期対応を中心とする） | ＜A. 500 床以上 B. 200～499 床 C. 200 床未満＞ | | |
| 2. 病院（療養を中心とする介護療養型医療施設等） | ＜A. 500 床以上 B. 200～499 床 C. 200 床未満＞ | | |
| 3. 病院（精神を中心とする） | ＜A. 500 床以上 B. 200～499 床 C. 200 床未満＞ | | |
| 4. 診療所（有床） | 5. 診療所（無床） | 6. 助産所 | 7. 都道府県保健所 |
| 8. 政令指定都市保健所 | 9. 市町村（保健センター等） | 10. 省庁・都道府県庁・市区町村（社協含む） | |
| 11. 検（健）診センター・労働衛生機関 | 12. 企業・事業所の健康管理部門 | | |
| 13. 地域包括支援センター | 14. 訪問看護ステーション | 15. 介護老人保健施設・介護老人福祉施設 | |
| 16. ケアハウス・グループホーム・有料老人ホーム | 17. その他の居宅サービス事業所 | | |
| 18. その他の社会福祉施設（障害者施設等） | 19. 看護系教育研究機関 | 20. 一般企業 | |
| 21. ボランティア団体 | 22. 救護（イベント、旅行添乗等） | 23. その他（ ） | |

【問 37】 定年退職後、再就業をするにあたり希望する雇用形態は何ですか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけて下さい。

- | | | |
|------------|--------------|-----------------|
| 1. 常勤（正職員） | 2. 非常勤（嘱託含む） | 3. 臨時雇用（1 ヶ月未満） |
| 4. その他（ ） | | |

【問 38】 定年退職後、再就業をするにあたり希望する勤務形態は何ですか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけて下さい。また、「1. 交替制（3 交替）」「2. 交替制（2 交替）」を選択された方は、希望夜勤回数もあわせてご記入下さい。

- | | | |
|------------------|-----------|-------------------|
| 1. 交替制（3 交替） | → | 夜勤回数（ ）回まで |
| 2. 交替制（2 交替） | → | 夜勤回数（ ）回まで |
| 3. 日勤のみ | 4. 夜勤のみ | 5. 1 日における勤務時間の短縮 |
| 6. 1 ヶ月間の勤務日数の短縮 | 7. その他（ ） | |

【問 39】 定年退職後、再就業をするにあたり希望する給与総額（手取り）はいくらですか。月給換算でご記入下さい。

	百	十	万	千	百	十	一	
月給換算								円以上

【問 40】 定年退職後、再就業をするにあたり希望する処遇は何ですか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけて下さい。

- | | | | |
|--------------|------------|------------|-----------|
| 1. 経験を考慮した給与 | 2. 有給休暇の取得 | 3. 宿舍・寮の整備 | 4. 駐車場の設置 |
| 5. その他（ ） | | | |

潜在ならびに定年退職看護職員の就業に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

【問 41】 定年退職後、再就業をするにあたり希望する業務内容は何ですか。希望する業務内容についてあてはまる番号すべてに○をつけて下さい。（複数回答）

1. 病棟看護	2. 外来看護	3. 手術室看護	4. 集中治療室
5. 救命救急	6. 人工透析	7. ホスピス	8. 施設看護（社会福祉施設）
9. 看護管理	10. 地域保健（一般行政）	11. 検診（がん検診等）	12. 健診（基本健診、母子健診等）
13. 予防接種	14. 介護予防	15. 生活習慣病予防事業	16. 健康管理（学校・企業等の健康管理室）
17. 救護（イベント、旅行添乗等）	18. 訪問看護	19. ケアマネジメント	
20. 介護（入浴介助等）	21. 教育	22. 学生実習指導	23. 通信添削指導員
24. 治験	25. 研究・開発	26. 看護職員の就業相談	27. 新人看護職員の臨床研修指導
28. 再就業看護職員の職場復帰支援研修指導	29. その他（_____）		

【問 42】 定年退職後、再就業のために事前に研修を受けたいと思われませんか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|



【問 42-1】 問 42 で「1. はい」を選択された方にお聞きします。具体的にはどのような研修を希望されますか。あてはまる番号にすべてに○をつけて下さい。（複数回答）

【内容】

1. ベテラン看護職員の活躍が期待される分野の紹介	2. これからの高齢者像・高齢者を巡る社会経済など
3. 再就業経験者の経験談	4. 起業経験者の経験談
5. 求人側（施設経営者・看護管理者）の立場からベテラン看護職員に期待するもの	
6. ベテラン看護職員を対象とした就職説明会	7. 定年退職後のキャリアプラン
8. 定年退職後の生活設計（年金に関する知識を含む）	9. 相談技術（カウンセリングやコーチングなど）
10. 看護管理・経営管理に関する知識	11. 施設見学・体験実習
12. その他の研修（内容：_____）	

【条件・方法】

1. 所属の看護協会における研修	2. 自宅から通いやすい施設での研修
3. 経験に応じた個別の研修	4. 実技を主体とした臨床研修
5. eラーニング（インターネットを用いた研修）	6. その他の条件・方法（_____）

【問 43】 日本看護協会に対するご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書き下さい。

◎ 質問は以上で終わりです。ご面倒ですが、最後にもう一度、記入漏れがないかどうかをご確認下さい。

長い時間のご協力ありがとうございました。

※ 本調査結果の速報は2007年1月頃に発表予定です。また、報告書は2007年春に刊行されます。

潜在ならびに定年退職看護職員の雇用に関する意向調査

調査ご協力をお願い

各施設 看護管理者 様

時下 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より日本看護協会事業の推進にご協力・ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、看護マンパワーの確保につきましては、すでにご承知のとおり第六次看護職員需給見通しにおいて今後 5 年間に約 11 万人の確保が必要とされており、加えてこのたびの診療報酬・介護報酬の改定に伴い、医療現場の喫緊の課題となっています。看護職員の安定的確保には離職防止と同時に、免許を有しながら就業していない、いわゆる潜在看護職員の有効活用が期待されています。そこで本会は推計で 55 万人いるとされている潜在看護職員のうち、調査協力者として登録のあった方を対象に、就業意向や希望する就業環境などを明らかにする調査を行います。

同時に本調査では看護管理者の皆様へ、潜在看護職員の採用に関する意向や雇用条件等について伺いさせていただくことにいたしました。調査結果は、47 都道府県や国等へ報告書としてまとめ、看護職の離職防止や再就業支援対策ならびに政策提言に生かしていく方針です。

本調査は全国の保健医療施設を無作為に抽出し、その施設の看護管理者の皆様を対象に行うものです。調査票は無記名でご記入いただき、統計的处理をいたしますので、個人を特定できるようなかたちで公表することは一切ございません。また、調査にご協力いただいた方の個人情報、本調査の目的以外に使用することはありません。調査終了後、責任を持って破棄いたします。

業務ご多端の折、誠にとお手数をおかけいたしますが、アンケートにご協力いただけますようお願い申し上げます。

日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部

ご記入にあたってのお願い

1. この調査は貴施設の看護管理者、もしくはそれに準ずる方で、貴施設における看護管理状況を正確に把握されている方にご記入をお願いいたします。
2. 文中で用いる「潜在看護職員」とは、求職活動をしている、していないに関わらず未就業の看護職員を示しています。
3. 特にことわりのない限り、**2006 年 10 月 1 日現在** の状況をお答え下さい。
4. 回答は、基本的にはあてはまる番号に○をつけて下さい。
5. 回答が「その他」にあてはまる場合は、ご面倒でもなるべく具体的にご記入下さい。
6. 内容については、統計的处理を行いますので、施設名・個人名が特定される形で公表されることは一切ございません。
7. ご記入いただきました調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、**11 月 15 日（水）までに** 投函して下さい（11 月 15 日消印有効）。

潜在ならびに定年退職看護職員の雇用に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

【問1】 貴施設の所在地をご記入下さい。また、都市区分に関してはあてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

①					都・道・府・県
②	1. 政令指定都市・東京23区	2. 政令指定都市以外の県庁所在地	3. その他の市	4. 町村	

【問2】 貴施設の設置主体についてあてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. 国（独立行政法人国立病院機構）	2. 国（国公立大学法人）	3. 国（それ以外の国）	4. 都道府県・市町村
5. その他の公的医療機関（日赤・済生会・厚生連等）	6. 社会保険関係団体	7. 医療法人	
8. その他の法人	9. その他（ ）		

【問3】 貴施設の種類についてあてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. 病院（急性期対応を中心とする）→ 問3-1へ	2. 病院（療養を中心とする介護療養型医療施設等）
3. 病院（精神を中心とする）	4. 診療所（有床）
	5. 診療所（無床）
6. 訪問看護ステーション	7. その他（ ）



【問3-1】 問3で「1.」を選択された方にお聞きします。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. 特定機能病院	2. 地域医療支援病院※	3. 専門病院（ 専門）	4. 一般病院
-----------	--------------	-----------------------------------	---------

※ 医療法第4条に定められた要件を満たす病院



【問3-2】 問3で「病院（選択肢1.～3.）」を選択された方にお聞きします。貴施設の許可病床規模はどの位ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. 500床以上	2. 200～499床	3. 200床未満
-----------	-------------	-----------



【問3-3】 問3で「病院（選択肢1.～3.）」を選択された方にお聞きします。貴施設の病床稼働率は何%ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. 60%以下	2. 61～70%	3. 71～80%	4. 81～90%	5. 91～100%
----------	-----------	-----------	-----------	------------

【問4】 貴施設の看護職員数は何人ですか。平成17年3月末及び平成18年3月末時点の人数をご記入下さい。

	全就業 看護職員数	うち当該年度 採用者		うち退職者数	うち 専門看護師数	うち 認定看護師数	うち認定看護 管理者数
			うち自施設へ再就 業した看護職員数				
平成16年度	名	名	名	名	名	名	名
平成17年度	名	名	名	名	名	名	名

潜在ならびに定年退職看護職員の雇用に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

【問 5】 貴施設において看護職員が退職する時、どのような相談体制を設けていますか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。(複数回答)

- | | |
|--|------------------------------|
| 1. 目標管理体制 [※] を実施しており、その中で相談にのる | 2. 人材育成や人事について相談できる専門の担当者がいる |
| 3. 特に相談体制は設けていないが、随時、看護管理者が相談にのる | |
| 4. その他 () | 5. 特になし |

※ 組織目標と個人目標を統合し、個人の成長と組織の業績を向上させる管理手法をいう。その過程で上司と部下は面接を実施、部下は個人目標の実現に努力し上司はそれを支援しその結果、組織目標が達成される。



【問 5-1】 問 5 で「1.」～「4.」を選択された方にお聞きます。その内容はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。(複数回答)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 看護実践能力の育成に関する相談 | 2. 就業を続ける上での悩みなどの相談 |
| 3. 退職後の計画に関する具体的な相談 | 4. 処遇や人間関係などの相談 |
| 5. 退職時の当該地域での職場の紹介 | 6. ナースセンターへの登録のすすめ |
| 7. その他 () | |

【問 6】 貴施設全体で 1 名以上の専任の教育担当者を配置していますか。あてはまる番号に 1 つだけ○をつけて下さい。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配置している | 2. 配置していない |
|-----------|------------|

【問 7】 貴施設における看護職員対象の研修体制についてお聞きます。院内研修、院外研修それぞれあてはまる番号に○をつけて下さい。

	院内研修 (1：実施している 2：実施していない)		院外研修 (1：実施している 2：実施していない)	
1. 新人（卒後 1 年）のための研修	1	2	1	2
2. 中途採用者対象の入職時研修	1	2	1	2
3. 中堅看護師（熟練者）の育成研修	1	2	1	2
4. 臨床のスペシャリスト（専門看護師、認定看護師等）の育成研修	1	2	1	2
5. 看護管理者の育成研修	1	2	1	2

潜在ならびに定年退職看護職員の雇用に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

【問8】 貴施設における看護職員の退職理由は何ですか。退職理由のうち主なものを下記【A表】から主なものを5つまで選んで番号に○をつけて下さい。(複数回答)

【問9】 多くの看護職員が潜在化してしまう理由は何だと考えますか。下記【A表】から主なものを5つまで選んで番号に○をつけて下さい。(複数回答)

	【A表】	問8 退職理由	問9 潜在化理由
I あなた自身 の状況に 関する事	1. 結婚	1	1
	2. 妊娠・出産	2	2
	3. 子育て	3	3
	4. 親族の健康・介護	4	4
	5. 自分の健康	5	5
	6. 定年	6	6
	7. 転居	7	7
	8. 配偶者の転勤	8	8
	9. リフレッシュ	9	9
	10. 進学・研修・留学	10	10
	11. 通勤困難	11	11
	12. 家事と両立しない	12	12
	13. (看護職以外の) 他の職場への興味 (具体的に_____)	13	13
	14. (看護職の) 他の職場への興味	14	14
	15. 自分の適性・能力への不安	15	15
	16. 興味が持てない・やりがいがない	16	16
II 職場環境 に関する事	17. 職場において看護の自律性、専門性が認められない	17	17
	18. 雇用者側の都合 (施設の閉鎖、統廃合等)	18	18
	19. 雇用形態に不満	19	19
	20. 昇進・昇給・給与に不満	20	20
	21. 福利厚生に不満	21	21
	22. 教育・研修体制に不満	22	22
	23. 勤務時間が長い・超過勤務が多い	23	23
	24. 夜勤の負担が大きい	24	24
	25. 休暇がとれない	25	25
	26. 上司 (看護管理者等) との関係 (暴言、暴力等)	26	26
	27. 同僚との関係 (暴言、暴力等)	27	27
	28. 医師との関係 (暴言、暴力等)	28	28
	29. 患者・ケア対象者との関係 (暴言、暴力等)	29	29
	30. 看護の理念・方針に不満	30	30
	31. 責任の重さ・医療事故への不安	31	31
	32. 医療のIT化 (電子カルテ等) に適応できない	32	32
III	33. その他 (_____)	33	33

【問10】 貴施設において看護職の副院長制を取り入れていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

1. 取り入れている 2. 取り入れていないが、今後取り入れる予定である 3. 取り入れていない

潜在ならびに定年退職看護職員の雇用に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

【問 11】 貴施設における経営・人事管理について最も影響力を持つ部門はどこですか。各項目それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

		1：経営者（院長）	2：看護部門	3：事務部門	4：その他
経営・管理	1. 施設の経営方針	1	2	3	4
	2. 病床コントロール	1	2	3	4
	3. 看護部門の方針	1	2	3	4
看護職員の人事管理	4. 採用数の決定	1	2	3	4
	5. 給与額の決定	1	2	3	4
	6. 採用決定	1	2	3	4
	7. 配置先の決定	1	2	3	4
	8. 退職の承認	1	2	3	4

【問 12】 貴施設において過去に潜在ならびに定年退職看護職員を採用したことはありますか。それぞれあてはまる番号に○をつけて下さい。

① 潜在看護職員	1. 採用したことがある	2. 採用したことはない
② 定年退職看護職員	1. 採用したことがある	2. 採用したことはない

【問 13】 貴施設において今後、潜在ならびに定年看護職員を雇用する意向はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。（複数回答）

1. 潜在看護職員を雇用する意向がある 2. 定年退職看護職員を雇用する意向がある 3. どちらの場合も雇用の意向はない

【問 13-1-1】 問 13 で「1. 潜在看護職員を雇用する意向がある」を選択された方にお聞きます。なぜそのように思われましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。（複数回答）

1. 欠員補充のため人材が必要である 2. 増員計画のため人材が必要である
3. 離職期間に関らず能力を発揮できる人材がいる 4. 職場の受け入れ体制がある
5. その他（ ）

【問 13-1-2】 問 13 で「1. 潜在看護職員を雇用する意向がある」を選択された方にお聞きます。雇用条件についてあてはまるものすべてに○を付けて下さい（複数回答）

1. 離職期間（ ）年以内 3. 離職期間にこだわらない
2. 自施設就業経験者に限る 4. 自施設就業経験者にこだわらない
5. その他（ ）

【問 13-2-1】 問 13 で「2. 定年退職看護職員を雇用する意向がある」を選択された方にお聞きます。なぜそのように思われましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。（複数回答）

1. 欠員補充のため人材が必要である 2. 増員計画のため人材が必要である
3. 能力を発揮できる人材がいる 4. 職場の受け入れ体制がある
5. その他（ ）

潜在ならびに定年退職看護職員の雇用に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561



【問 13-2】 問 13 で「2. 定年退職看護職員を雇用する意向がある」を選択された方にお聞きます。雇用条件についてあてはまるものすべてに○を付けて下さい。(複数回答)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 離職期間 () 年以内 | 3. 離職期間にこだわらない |
| 2. 自施設就業経験者に限る | 4. 自施設就業経験者にこだわらない |
| 5. その他 () | |



【問 13-3】 問 13 で「3. どちらの場合も雇用の意向はない」を選択された方にお聞きます。なぜそのように思われましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。(複数回答)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 即戦力にならない | 2. 職場適応が難しい |
| 3. 働く領域が限られる | 4. 職場の受け入れ体制の準備が難しい |
| 5. 比較的早く退職する | 6. その他 () |

◎ 【問 13】で「1. 潜在看護職員を雇用する意向がある」「2. 定年退職看護職員を雇用する意向がある」を選択された方は【問 14】へ、「3. どちらの場合も雇用の意向はない」を選択された方は【問 18】へお進み下さい。

【問 14】 貴施設において潜在ならびに定年退職看護職員を採用する際、希望する条件についてお聞きます。採用希望免許、希望雇用形態のそれぞれの項目にあてはまるものすべてに○をつけて下さい。(複数回答)

	① 潜在看護職員	② 定年退職看護職員
I 採用希望免許	1. 保健師 2. 助産師 3. 看護師 4. 准看護師	1. 保健師 2. 助産師 3. 看護師 4. 准看護師
II 採用希望雇用形態	1. 常勤（正職員） 2. 非常勤（嘱託含む） 3. 臨時雇用（1ヶ月未満） 4. その他 ()	1. 常勤（正職員） 2. 非常勤（嘱託含む） 3. 臨時雇用（1ヶ月未満） 4. その他 ()

【問 15】 貴施設において潜在ならびに定年退職看護職員を雇した場合の給与についてお聞きます。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。(複数回答)

① 潜在看護職員	② 定年退職看護職員
1. 離職期間の長さや就業場所に関係なく職歴を考慮する	1. 離職期間の長さや就業場所に関係なく職歴を考慮する
2. 離職期間が () 年以上の場合、職歴を考慮しない	2. 離職期間が () 年以上の場合、職歴を考慮しない
3. 診療所や病院の規模・機能によっては職歴を考慮しない	3. 診療所や病院の規模・機能によっては職歴を考慮しない
4. その他 ()	4. その他 ()

潜在ならびに定年退職看護職員の雇用に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

【問 16】 潜在ならびに定年退職看護職員が働きやすい就業環境を提供するために、貴施設ではどのような取り組みを行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。（複数回答）

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 短時間雇用が可能である | 2. 日勤のみ、夜勤のみなど勤務体制を調整できる |
| 3. 夜勤回数について調整できる | 4. 出退勤の時間が柔軟に調整できる |
| 5. 週休取得について柔軟に対応できる | 6. 育児休暇の取得を推進している |
| 7. 子の看護休暇の取得を推進している | 8. 介護休暇の取得の推進をしている |
| 9. 院内保育所がある | 10. 院内か近隣に学童保育施設がある |
| 11. 近隣の保育所を利用できる | 12. 看護職員が利用できる駐車場がある |
| 13. 潜在看護職員の研修指導や相談を行なう担当者を配置している | |
| 14. 再就業のための看護実務研修体制がある | 15. 職員が潜在看護職員に対し積極的に協力するよう周知している |
| 16. 入職前の病院見学や面談を充実させている | 17. 定年後の勤務延長・再雇用制度を実施している |
| 18. その他（_____） | |
| 19. 特に取り組んでいない | |

【問 17】 貴施設において潜在ならびに定年退職看護職員を採用する際に求める経験や能力について、それぞれ 5 つまで選んで番号に○をつけて下さい。（複数回答）

	① 潜在看護職員	② 定年退職看護職員
1. スタッフとしての基本的な実践経験（身の回りのケア等）	1	1
2. 熟練した臨床実務経験	2	2
3. 看護管理経験	3	3
4. 専門看護師・認定看護師などの専門性	4	4
5. リスクマネジャーとしての経験	5	5
6. 教育や指導の経験	6	6
7. 介護支援専門員（ケアマネジャー）としての実務経験	7	7
8. 救命救急士等の緊急時対応の経験	8	8
9. 保健医療福祉行政の経験	9	9
10. メンタルヘルス等の相談経験	10	10
11. 治験コーディネータの経験	11	11
12. 高度医療体制の中の急性期ケア	12	12
13. リハビリ等慢性期のケア	13	13
14. 高齢者のケア	14	14
15. 産科等の助産師業務経験	15	15
16. ホスピスや在宅ケア	16	16
17. 精神疾患の施設内あるいは地域ケア	17	17
18. その他（_____）	18	18
19. 保育や小児看護の経験	19	19
20. パソコンの基本的な操作ができる	20	20
21. 特になし	21	21

潜在ならびに定年退職看護職員の雇用に関する意向調査

問い合わせ先：日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 TEL：03-5778-8561

【問 18】 貴施設において、再就業を希望して面接に来る看護職員の主な情報の入手先は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。(複数回答)

- | | | |
|-------------|----------------|------------------|
| 1. ナースセンター | 2. ハローワーク | 3. 人材派遣・人材紹介ビジネス |
| 4. 出身学校・先生 | 5. 知人・友人 | 6. 家族・親戚 |
| 7. 前の職場 | 8. 求人広告 | 9. 現在の職場からの誘い |
| 10. 就職説明会 | 11. 自施設のホームページ | 12. インターネット |
| 13. その他 () | | |

【問 19】 貴施設では「職場復帰プログラム」^{注1)}を実施していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

注 1) 雇用保険の適用事業主または事業主団体が、育児休業または介護休業を取得した労働者がスムーズに職場に復帰できるよう職場適応性や職業能力の維持・回復を図る措置（職場復帰プログラム）を、計画的に実施すると、財団法人21世紀職業財団から助成金が支給されます（詳細は21世紀職業財団にお問い合わせ下さい）。

【問 20】 貴施設で休業中の看護職員へ実施していることがあればあてはまる番号すべてに○をつけて下さい。(複数回答)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 休業中の看護職員に定期的に病院や看護部門の情報を提供している |
| 2. 休業中の看護職員に最新の医療看護に関する知識を提供している |
| 3. 休業中の看護職員の職場復帰直前に臨床研修を実施している |
| 4. 休業中の看護職員の職場復帰後、臨床研修を実施している |
| 5. その他 () |
| 6. 何も実施していない |

【問 21】 貴施設を退職した看護職員へ実施していることがあればあてはまる番号すべてに○をつけて下さい。(複数回答)

- | |
|--|
| 1. 貴施設を退職した看護職員へ、希望に応じ、病院や看護部門の情報を提供している |
| 2. 貴施設を退職した看護職員へ希望に応じ、病院の求人情報を提供する |
| 3. その他 () |
| 4. 何も実施していない |

【問 22】 日本看護協会に対するご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書き下さい。

--

◎ 質問は以上で終わりです。ご面倒ですが、最後にもう一度、記入漏れがないかどうかをご確認下さい。

長い時間のご協力ありがとうございました。

※ 本調査結果の速報は2007年1月頃に発表予定です。また、報告書は2007年春に刊行されます。

潜在ならびに定年退職看護職員の就業に関する意向調査 ワーキンググループ

(委員)

- 柏木とき江 筑波記念病院 看護部長
鈴木理恵 日本看護協会 政策企画部 調査研究係
田中幸子 北里大学 看護学部 看護管理・情報管理学 助教授
○ 平井さよ子 愛知県立看護大学 看護管理学 教授
福井トシ子 杏林大学医学部付属病院 看護部 看護部長
◎ 前田樹海 長野県看護大学 看護学部 生活援助学 助教授
松下由美子 山梨県立大学 看護学部 成人看護学 教授

(担当役員)

楠本万里子 日本看護協会 常任理事

(事務局)

廣瀬佐和子 日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部 部長
松田洋一郎 日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部
古川佳子 日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部
北崎朋子 日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部

※ ◎：委員長 ○：副委員長

※ 敬称略

潜在ならびに定年退職看護職員の就業に関する意向調査 報告書

平成19年3月発行

発行者 社団法人 日本看護協会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2

電話 03-5778-8831 (代)

ホームページ <http://www.nurse.or.jp>

問い合わせ先 社団法人 日本看護協会 専門職支援・中央ナースセンター事業部

電話 03-5778-8561

ホームページ <http://www.nurse-center.net/>